

立命館大学 正 員 塚口 博司
立命館大学大学院 学生員 香川 裕一
(株) セントラルコンサルタント ○正会員 齊藤 淳

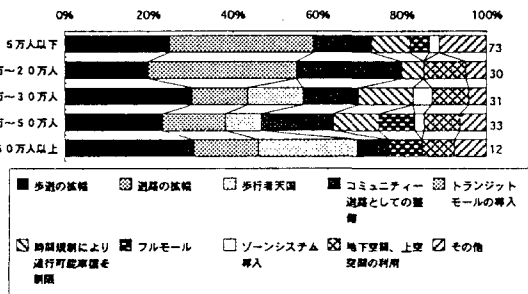
1. はじめに

今日の社会における街路整備は自動車交通の処理だけでなく、歩行者交通ならびに自転車交通の安全性や快適性を考慮したものではなくてはならない。一般に、交通環境の改善を目的として都市の街路空間を有効利用する場合、セミモール、トランジットモール、フルモールなどのモール整備が考えられ、特にトランジットモールは快適な歩行空間を提供するとともに公共交通の利便性を向上させ、その結果都心商業地区の活性化を促すことができると言われている。トランジットモールの導入は欧米諸国には数多くみられるものの、わが国には具体的な導入事例がない。

そこで本研究では、街路の空間配分を考える場合の手法としてトランジットモールの導入を取り上げ、導入にあたっての課題を明らかにすることを目的とする。そこで、全国の10万以上の都市の都市計画課、ならびに同様の都市の商工会議所に対してアンケート調査を実施した。配布回収状況は表－1に示す。

表－1. アンケートの概要

調査対象	調査方法	送付票数	回収票数	回収率
商工会議所	郵送	180	102	56.7%
都市計画課	郵送	211	179	84.8%

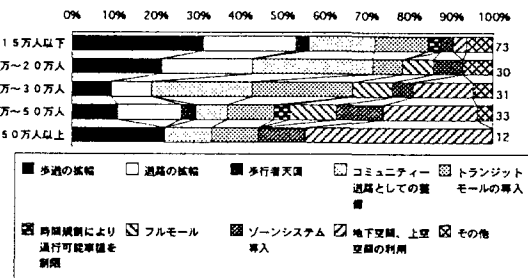


図－1. 都市規模別にみた実施中の対策

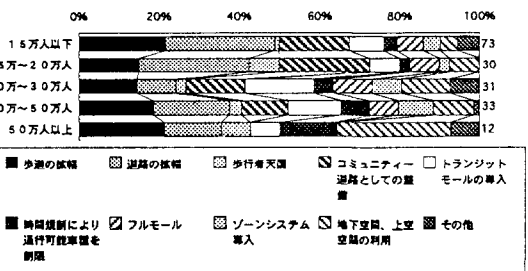
2. 都市規模別にみた交通管理手法

ここでは、都市計画課へのアンケートについて述べる。図－1に示すように早急な街路整備が必要である地区に対する実施中の対策としては、全体的には歩道の拡幅といった意見が多い。都市規模別にみると20万人以下の都市では道路の拡幅、コミュニティ道路としての整備を実施している都市が多く、また20万人以上の都市で、都市規模が大きくなるにつれて歩行者天国を実施している都市が多い。

現時点で検討している対応策としては、図－2に示すように、ゾーンシステムの導入、地下空間、上空空間の利用が、都市規模の増大に伴って多くなっている。トランジットモールの導入に関しては20～30万人の規模の都市で比較的多く検討されており、20万人以上の都市では、図－3に示すように、今後望ましい対策としてトランジットモールが挙げられている。また今後の対応策に関しては、図-3に示すように都市規模が小さい場合には、道路の拡幅、コミュニティ道路としての整備という意見が多く、人口が50万人以上の都市においては、地下空間、



図－2. 都市規模別にみた検討中の対策

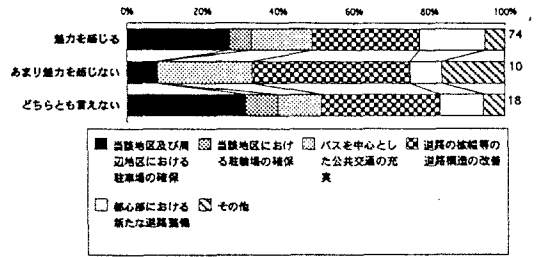


図－3. 都市規模別にみた今後の対策

上空空間の利用という意見が非常に多くなっている。

3. トランジットモール導入への期待

商工会議所に対するアンケート調査によれば、トランジットモールの魅力に関しては、魅力を感じるという回答が、全体の72.5%であり、トランジットモール導入が「望ましい」と回答したのは、全体の43.1%であった。魅力的ではあるが、現実を考えると必ずしも導入が望ましくないという意見もみられる。望ましいと回答した理由としては、公共交通がスムーズに運行できると街の景観がよくなるという意見が多い。またトランジットモールの導入が望ましくないと回答した理由としては、道路構造上の問題や交通処理、自動車利用の不便さが挙げられる。



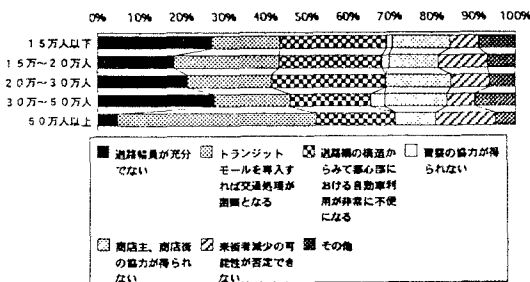
図－4．導入の条件と魅力度

図－4に示すように、トランジットモール導入の条件としては、トランジットモールに魅力を感じ、その導入が望ましいと答えている商工会議所の中で、当該地区及び周辺地区における駐車場の確保という意見が多い。

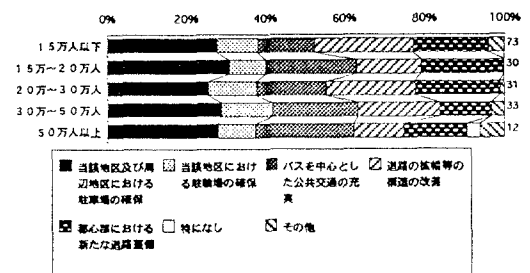
4. トランジットモール導入に関する問題点

トランジットモール導入に関する問題点に関しては、図－5に示すように、「道路幅員が充分でない」、「道路網の構造からみて都心部における自動車利用が非常に不便になる」という意見が多い。また都市規模別にみれば、50万人以上の都市においては、「道路網の構造からみて都心部における自動車利用が非常に不便になる」という意見が少なくなっており、逆に「交通処理が困難となる」という意見が多くなっている。

トランジットモール導入の際、同時に整備すべき事項に関しては、図－6に示すように全体的には当該地区及び周辺地区における駐車場の確保という意見が多く、また規模の小さい都市においては、道路構造の改善や公共交通の充実という意見が比較的多い。



図－5．都市規模別にみた導入時の問題



図－6．都市規模別にみた同時に整備を要する事項

5. おわりに

トランジットモールの導入には、道路の拡幅、公共交通の充実、交通処理が課題となっているが、中でも駐車場の確保が非常に大きな問題となっていることがわかる。駐車場整備を伴ったトランジットモールは、快適な都市空間の創造、あるいは環境改善に有効であると考えられ、今後はトランジットモール導入の可能性の高い都市に対して、具体的な問題にどのように対応していけばよいかを検討する必要がある。最後に調査に御協力頂いた各市の都市計画課ならびに商工会議所各位に謝意を表する次第である。